

助成事業実施報告書

団体 ときどき食堂 つ☆な☆ご

代表者・役職名 氏名 代表 山田果林

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

子ども食堂

2. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度

本活動は、子ども、老人、異国籍の方たちを美味しい食事や学習、ゲーム、絵画教室を通じ誰も一人にしない活動です。3, 8 月の新しい学期が始まる月は、ライオンのお口プロジェクト、7 月は夏休みの宿題を兼ねた絵画教室、12 月は、サンタがやってくるクリスマス会、5, 7, 9, 11 月は、しこ名をつけて相撲大会、それ以外の月は、ビンゴゲームをしています。相撲大会もビンゴゲームも3歳から、高齢者の方々まで、異年齢でみんな楽しんでできています。また、子育てに疲れたお母さんにも好評で、ときどき食堂は、「癒しの天国」と褒めていただいています。

3. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度

月に2回のペースで6月は無料のうどんだったために173人、8月は王将の無料の弁当に50人にいらしていただき1年間の総動員数は552人でした。助成金のおかげでネグレクトの姉妹を招待することもできました。また、中国や英語圏オーストラリアの方たちにもいらしていただき「ありがとう」の言葉をそれぞれの国の言葉で発音し多国籍交流をしました。また、普段送り迎えをいただいているおじいさんやおばあさんにもいらしていただき多年齢交流もできました。ランチの後のお楽しみゲームでは、自分のしこ名をつけてお相撲ゲームやビンゴゲームなどは、1歳から90歳までみんな楽しんでできました。

4. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字程度

子どもは社会の宝です。未来を作る無限の可能性を秘めています。その子どもたちが生まれ育った環境によって将来が左右されることなく、すべての子どもたちが夢と希望をもって成長できるような持続可能な地域づくりを目指しています。そのためには、なるべく添加物のないオーガニック食材を使い、季節感を大切に安全な美味しい食事をお腹いっぱい食べて幸せになり、子どものみならず、子育てに疲れたお母さん、高齢者、障がい者、多文化交流、全ての人が平等に健康を通じて自己肯定感の向上を目指すためにこの活動続けていきたいと思えます。児童虐待やネグレクトの子どもたちが気楽に食べに来れるような雰囲気作りや食べに来ている

方たちやボランティアさんたち食堂全体のコミュニケーションを高める活動を頑張りたいと思います。助成金ありがとうございました。

5. 参考資料

プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等のデータ。活動の様子がわかる写真などを必ず別途ご提供ください

サンタクロースさんかプレゼントを配っているところです。



昼食が終わりビンゴゲームをしているところです。